

平成26年3月

## 平成25年度 学校関係者評価委員会からの提言

砧南小学校学校関係者評価委員会

委員長 古澤 昇

平成25年度の世田谷区共通のアンケート項目に、学校独自項目を加えた「砧南小学校学校関係者評価アンケート」が昨年末実施された。5・6年児童312名、保護者697名（総数900名）、地域21名（総数36名）の回答を得た。

我々は、区が集計した表やグラフを基に、分析を試みた。今年度は、特に現6年児童の1年間の変容を取り上げ、分析に加えてみた。

分析の基準として、A（とても思う）プラスB（思う）の合計が、80%以上を良しと見なすことにした。以下、分析結果および提言を述べる。

### 記

#### 1. 学習指導について

【児童】学習指導の項目では、ほとんどが80%以上の高い評価を示しているが、「授業は楽しい」という項目で、6年児童が5年児童に比べ7%低い79%である。更に、昨年度の評価と比べても7%低くなっている。

【保護者】保護者の評価では、「学力がついている」の項目で80%を下回っているが、昨年度に比べ5%高くなり76%を示している。学校へ更なる学力向上の期待がこめられている。

【提言】授業がより分かりやすく、楽しくなるような授業を展開するための教材・指導法の改善等を更に進めてもらいたい。

ベテラン教員が若手教員の授業力を育てるための学校および学年研修の持ち方も検討してもらいたい。教師は授業で勝負する！

#### 2. 生活全般について

【児童】「自分はきまりを守っている」の評価は、現5・6年ともに80%を下回っている。「先生は注意している」「納得できる」が90%を越えて多いという意識が強いのかと思われる。

「問題行動が少ない」「相談をしやすい」は、ともに80%を下回るがそれぞれ8%の伸びがあった。これは、ここ2～3年続く伸びの傾向である。「学校行事が楽しみ」「活躍チャンスがある」「やる気を大切指導」「先生は熱心」「話を聞いてくれる」「学校生活が楽しい」「小学校が好き」が、80%以上という高い評価の中、80%を少し下回ったのが、「先生は公平」である。現5年が76%、現6年が78%であったのは意外である。

【保護者】「学校行事を楽しみ」「活躍場面の充実」「学校長のリーダーシップ」「熱心な取り組み」「ていねいな対応」など、先生方への高い評価を示している。

【提 言】子どもに二面性（やさしさと厳しさ）を指導できる教師。「子どもを認めて育てる」指導はもちろんだが、いけないことは毅然とした態度で注意できる指導を心がけてもらいたい。どんな子どもでもいいところを見つけて認めてあげることが大切である。子どもが「公平」をどのように捉えているのか、子どもと話し合う中で考えていってもらいたい。

### 3. 子どもの心の育ちについて

【児 童】「行事が楽しみ」「活躍チャンス」「やる気」「生活が楽しい」「学校が好き」「あいさつ」「助けてくれる」「助けている」などが、6年生の1年間の伸びが著しく高い評価を示している。学校や地域での活動で自分の役割・必要性を感じているようである。

【保護者】子どもと同様に、「学校行事が楽しみ」「学校生活が楽しい」「学校全体に活気」「学校と保護者の協力」など、評価が高く、子どもの心の成長を支えてくれているようである。

【提 言】なぜ、このように子どもの心の成長が顕著に表れるのか。砧南小学校の教育とそれを支える保護者・地域の皆さんとの連携・自己肯定感を視点として、探求したことをまとめてはどうか。

### 4. 学び舎について

【児童・保護者】両者ともに、中学校との交流については行っていないのか、評価が低くなっている。特に気になるのは、「わからない」との回答が多いことである。

【提 言】25年度は教員の交流が主であったが、やはり実際に交流体験を行うことが重要である。小学生・中学生・教員が集まり、目的を明確にして、できそうな活動内容を引き出し進めてほしい。例）中学校生徒会と児童会との交流、PTAの交流、教員の交流、（内容・・・地域での活動、学習態度・生活態度について情報交換する等）

### 5. 情報の提供について

【児童・保護者・地域】中学との交流、学校協議会や学校運営委員会などのことについての回答では、「分からない」と回答した割合が高く目立った。

【提 言】アンケート配布時に、理解不足の項目については説明書きを加えてはどうか。パソコンを開かない家庭が多いようだが、極力ホームページ更新に尽力して関心を高める必要を感じる。情報提供は、分かりやすさ・正確さ・タイミングのよさが要求される。情報によりホームページ、学校便り、PTA便り、町会や自治会だより等の利用を選択してほしい。